

■ わんぱくひろば (山田学区まちづくり協議会 地域協働合校部会)

1 【活動の趣旨】

地域の大人と子どものふれあいを大切に、子どもたちが集える居場所づくりとして、学区内各種団体に協力していただき、地域で子どもたちの成長を見守る。

2 【特徴的な活動内容】

○「七夕かざり&キラキラゼリーを作ろう!!」

実施日：平成30年6月23日(土)

参加者：子ども57名 大人：29名

毎年恒例の七夕かざり作りに、サイダーで作るしゅわしゅわキラキラゼリーを加え、参加人数が例年の3倍になった。子どもたちが作ったゼリーを七夕かざりでお世話になった老人クラブ連合会の皆さんにプレゼントして一緒にいただいた。

○「ジェルキャンドル&キャンドルナイト!!」

実施日：平成30年11月24日(土)

参加者：子ども30名 大人：24名

『火』をテーマに、わんぱく初の試みとして、灯りを楽しむため開催時間帯を午後を設定した。ジェルキャンドルを作り、お芝居仕立てのゲームを楽しんだ後、火の神様の登場で子ども達のテンションは最高潮に！長い年月をかけて人類が手に入れた火、良くも悪くも使うのは私たち次第…そんな大切な心を子ども達に伝えることができた。夜には、温かみあるキャンドルの中で、絵本を読んだり、民生委員児童委員協議会の皆さんによる美しい音色のハンドベル演奏を楽しんだ。



【サイダーとラムネでキラキラゼリー作り】



【火の神様と火について考えるゲーム遊び】



【キャンドルの中でのハンドベル演奏】

3 【実施に当たっての工夫】

- ・参加申込書にサポーター募集欄を設けて、事業ごとに保護者ボランティアを募った。
- ・子どもたちと直接関わりのある親世代が積極的に参加する事により、参加する子どもたちのニーズに合ったイベントが開催できている。

4 【事業の成果】

事業を通して、様々な年齢層の仲間づくりができ、地域の方々と子どもたちとの関わりがより密接になっている。

5 【事業実施上の課題・今後の連携・協働活動実施に向けて】

毎年7月末に実施していたアドベンチャーハウス(宿泊事業)は、昨年の災害レベル級の暑さにより中止しなければいけなくなったが、80名の応募があり依然人気の事業となっている。夏休み恒例であったが、今後は時期的なものも含めて受け入れる体制を考えなければならない。